

紙から電子の社会をめざして



公益社団法人日本文書情報マネジメント協会

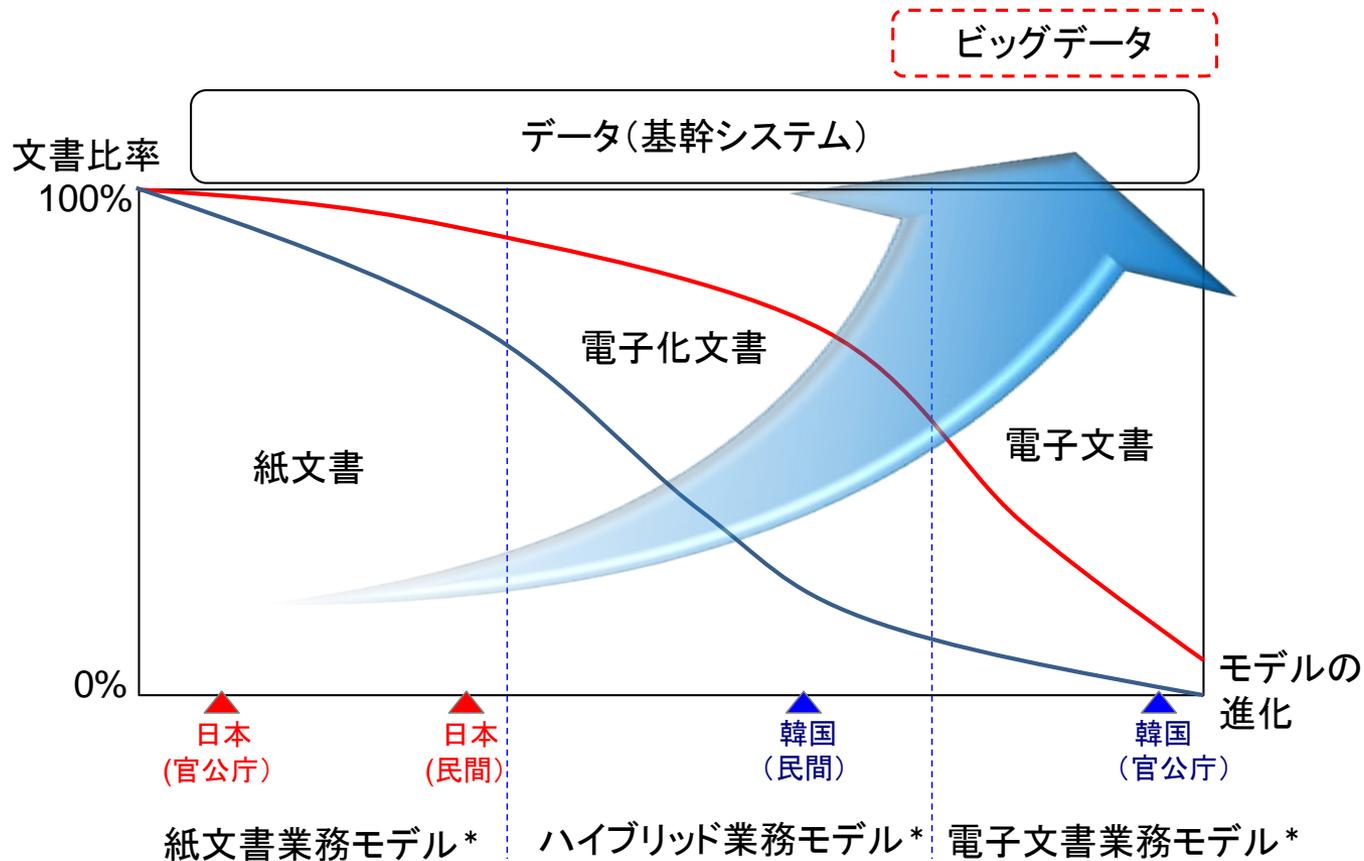
について

Japan Image and Information Management Association

<http://www.jiima.or.jp>

2014年4月23日

紙から電子の社会をめざして、文書情報マネジメントの普及啓発を行う公益法人



# 56年目を迎えました



公益社団法人  
日本文書情報マネジメント協会

## 沿革

1958年：日本マイクロ写真協会(略称：JMA)として設立

1962年：社団法人として認可(経済産業省認可)

1995年：社団法人日本画像情報マネジメント協会(JIIMA)に改称

2008年：創立50年

2013年：公益社団法人日本文書情報マネジメント協会(JIIMA)

会員数：約200社

文書情報マネジメント関連システムの利用者と、

メーカー、サービスビューロー、ソフトウェアハウス等の法人または個人

### \* 文書情報マネジメント

組織の業務を円滑にするため、文書情報の作成・取得段階から、保管・保存・再利用・廃棄までのライフサイクル全体を通じて、確実かつ効率的に管理するための手段として、構造化データ、非構造化データを問わず、ハード・ソフト・コンテンツを機能的に組み合わせ、目的に応じて文書情報を有効に活用することをいう。

## 文書情報マネジメントの普及啓発

### 調査・開発に関する事業

政策提言、国内・海外市場調査、官公庁受託調査、ISO/JIS標準規格策定

### 人材育成に関する事業

文書情報管理士認定、文書情報マネージャー認定、海外視察研修

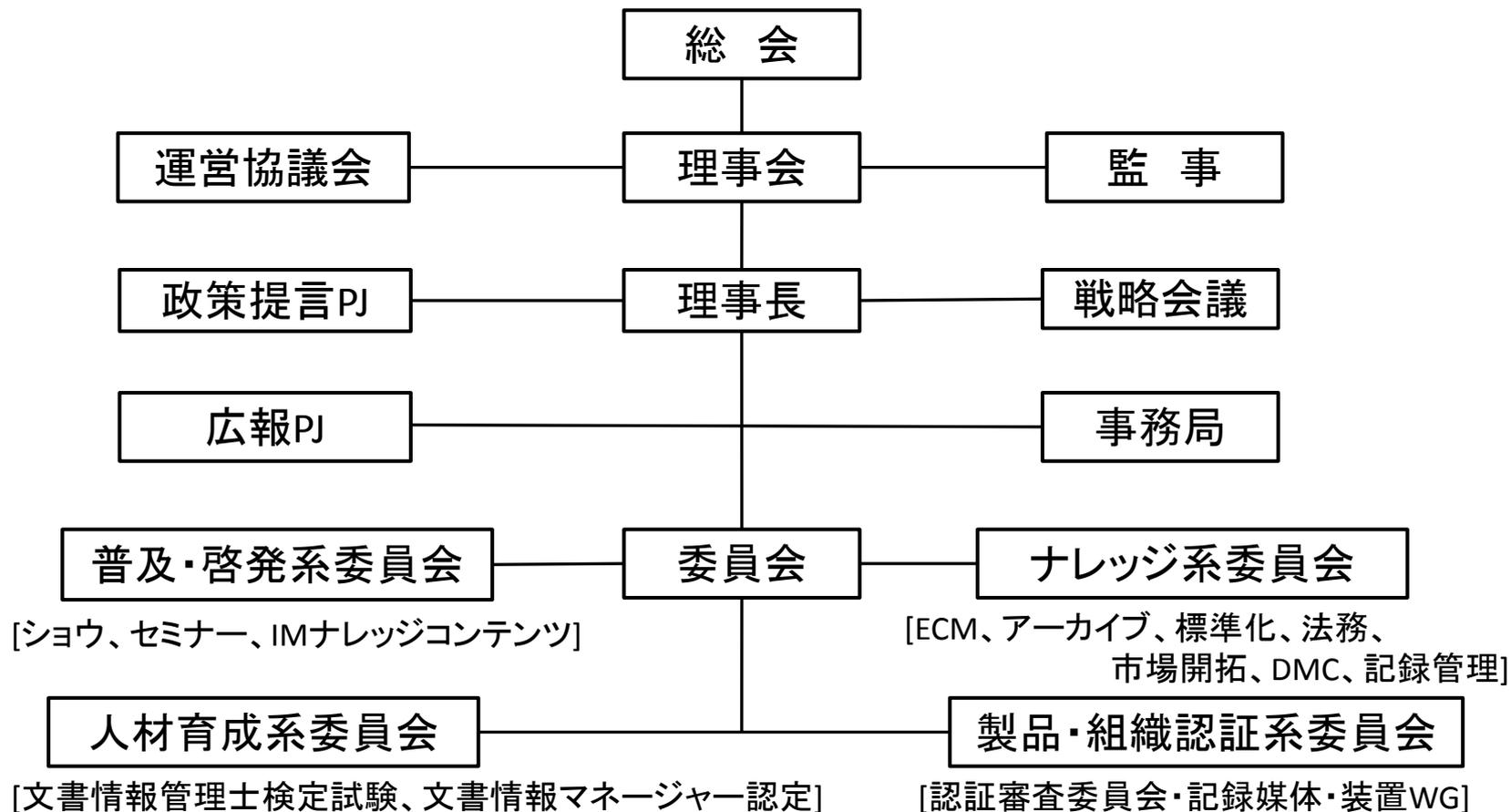
### 普及啓発に関する事業

機関誌「月刊IM」無償閲覧、eドキュメントJapan等ショー・セミナー、  
製品・システム・組織認定

# JIIMAの組織



公益社団法人  
日本文書情報マネジメント協会



\* 委員会活動はJIIMA活動の源泉であり、公益事業目的に共鳴する有識者とJIIMA会員により構成しています。

# JIIMA最近の成果



公益社団法人  
日本文書情報マネジメント協会

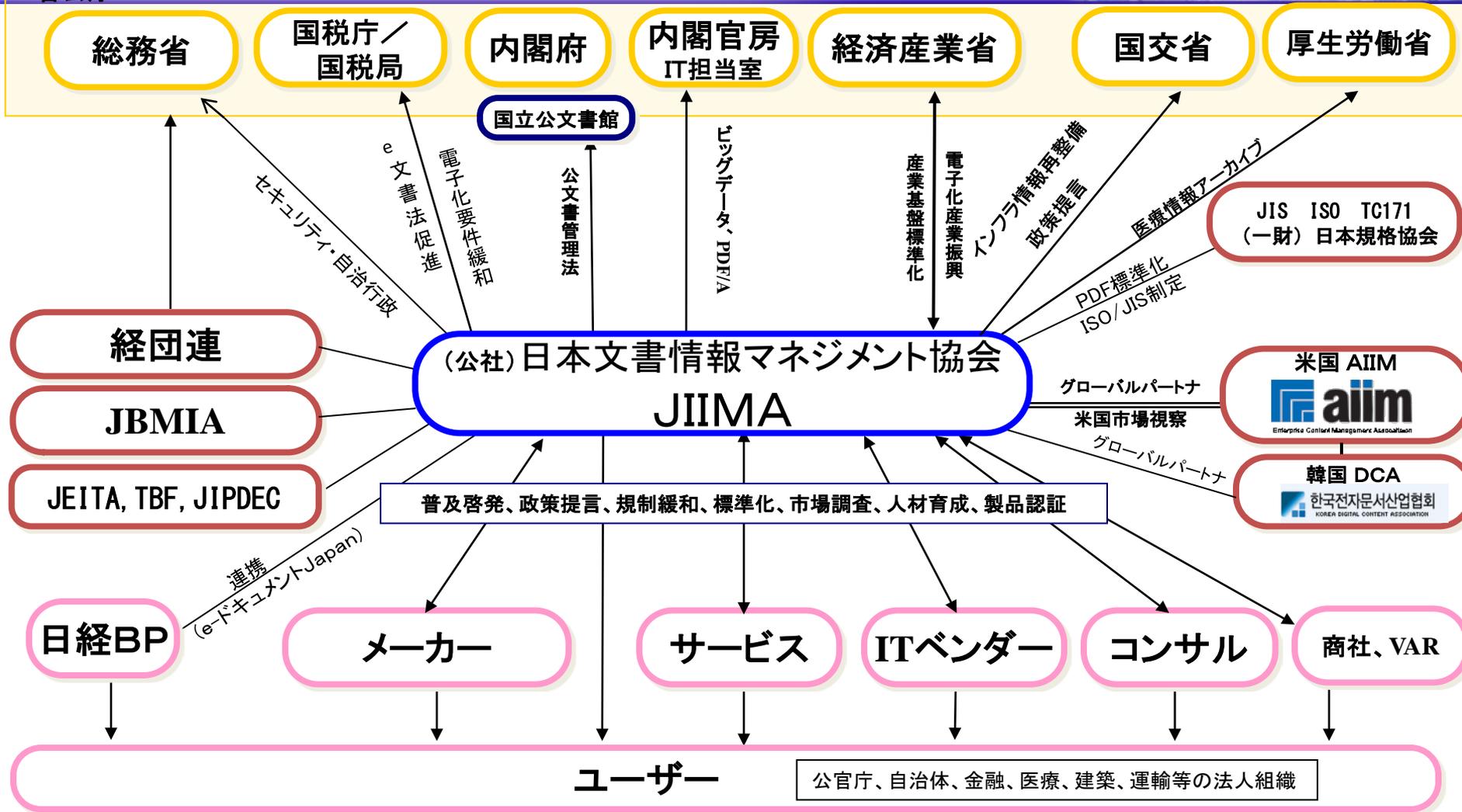
- 国交省へ社会インフラ関係の竣工図書などの情報再整備事業を提案  
→ 平成26年度「防災・安全交付金」によるデータベース整備を認める
- 内閣府の規制改革会議で「国税関係書類の電子化規制の見直し」を主張  
→ 国税庁が電子署名→ID+PW等の規制緩和を再検討
- JIIMAスキャナー用カラー/モノクロ兼用テストチャートがISO正式承認
- 文書情報管理士;資格認定者が累計10,000人を突破、官公庁での電子化  
→ 業務に必要な資格として社会的に評価される
- 新たにユーザー組織内で、経営の視点から重要な文書情報管理を推進する「文書情報マネージャー」認定制度を開始
- 国内唯一の文書情報管理専門誌「月刊IM」の電子化・無償閲覧化

# JIIMA活動との関係団体



公益社団法人  
日本文書情報マネジメント協会

官公庁



JIIMAは多くの方々と協力して文書情報マネジメントの普及啓発を進めています

# JIIMA入会のおすすめ



公益社団法人  
日本文書情報マネジメント協会

## ○会員の種別

一般会員; 文書情報マネジメントを利用するユーザー組織/個人

維持会員; 文書情報マネジメントを業とし製造・販売・ソフト開発・入力サービス等を行う法人

## ○入会すると

- ① 紙から電子の世界をめざす各種の委員会活動への参加できます。  
企業単独では難しい政策提言や規制緩和、標準化活動などを、  
公益法人であるJIIMAを通じて、行うことができます。
- ② 約200社の会員間での情報交換やJIIMA活動を通じて、内外の最先端の情報入手や、  
多様な人脈作りが可能です。
- ③ JIIMA主催行事や調査報告書、その他出版物は、会員特別価格を適応。

## ○入会金・年会費(非加税)

一般会員; 入会金10,000円、年会費50,000円

維持会員;

資本金10億円以上 入会金・年会費 300,000円\*

資本金 1億円以上 入会金・年会費 200,000円\*

その他の法人 入会金・年会費 100,000円

\* 2014年後期以降の年会費、それまでは一律100,000円/年